

「鍵となる能力」< NIE 学習 > 学習について

さいたま市立鈴谷小学校 菊池 健一

1. 研究内容 知識・情報活用学習(知識・情報リテラシー)

(1) NIEを利用した調べ学習 + グループによる課題解決のための活動的協同的表現的な学び

児童がグループによる協同的な学びを行う。クラスのテーマからグループのテーマを絞り込み、新聞を中心に活用して調べ学習を行う。そして、調べたことをまとめたり、発表したりする表現的活動(言語活動の一環として)を行う。

(2) 扱う知識・技能の内容

1) 市民性学習(よりよき市民として社会参画する知識・技能)

扱う時間 = 総合的な学習を中心に各教科・道徳・特別活動など教科横断的に再構成

2) 市民性学習の内容 児童がやがて社会で遭遇するであろう現代的課題

児童の状況・文脈に入ったもの、学ぶ必要感のある内容

* 鈴谷小学校は低学年で GPS 機能付きの携帯をもたせる防犯対策を行ってきた。また、保護者との連絡などに携帯メールの活用も行っている。そして、本学級(4学年)でも3分の1の児童が自分専用の携帯をもっていることから、携帯は児童が関心をもつ現在の課題と言える。

3) 知識活用学習のポイント

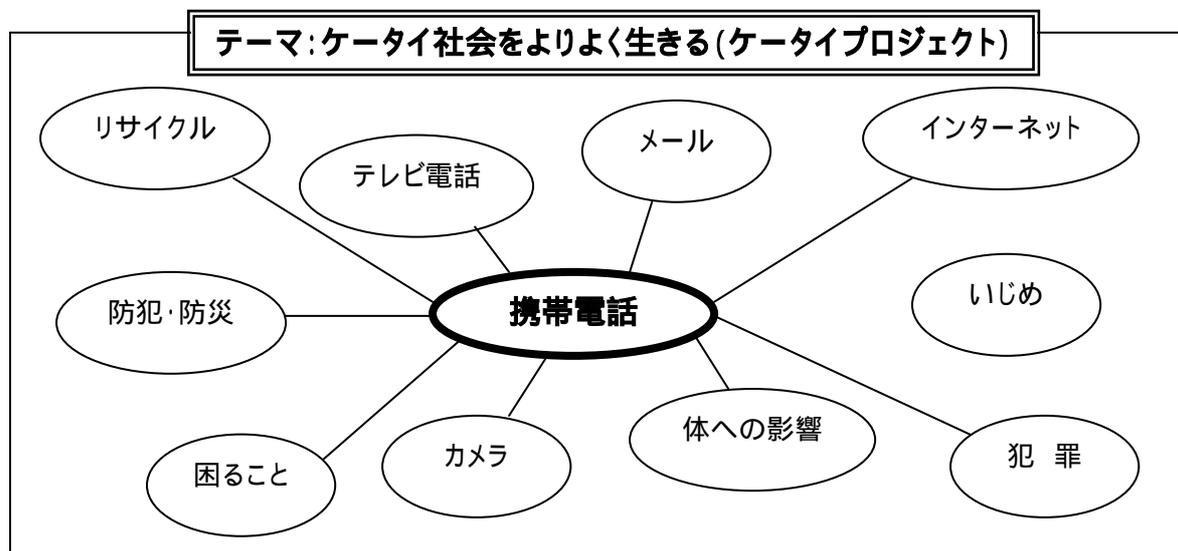
NIEを利用した調べ学習のスキルと表現コミュニケーションのスキル

2. 学習のテーマ

(1) クラステーマ

『ケータイ社会をよりよく生きる』(ケータイプロジェクト)

(2) 予想されるグループテーマ



3. 単元計画

(1) 学習の扱い方

総合的な学習の時間をベースに各教科・道徳・特別活動の時間を配当する。

(2) 単元の流れ(20時間扱い)

学習過程	学習内容	行いたい工夫
準備 (9月中) [2時間]	携帯について知っていることを発表し合う。 新聞記事やデータなどから問題をつかむ活動を行う。 新聞スクラップ開始	・携帯について基本的な情報を全児童で共有するようにさせる。 ・スクラップ帳に関係のある記事をスクラップさせる。 ・テーマに関係のあるゲストティーチャーの授業を行う。
テーマ (10月上旬) [2時間]	クラステーマとグループテーマの決定	
調べ学習 (10月～11月中旬) [7時間]	新聞や図書、インターネットを活用した調べ学習を行う。	・新聞記者の出前授業で取材の仕方について教えていただく。
成果物作成 (11月中旬～下旬) [5時間]	グループごとの新聞づくりを行う。	・新聞の作り方について新聞記者の方に教えていただく。
プレゼンテーション (12月上旬) [3時間]	調べたことを発表する。 自分の意見を新聞社に投稿する。	・保護者や地域の方などに向けてプレゼンをする。 ・新聞社への投稿をする。
学習のまとめ (12月中旬) [1時間]	学習して成長したことをまとめる。	

太い囲み線の中は研究に関わる活動の場面。

4. 調べ学習のスキル

(1) テーマの絞り込み

児童の全員が携帯をもっているわけではないので、単元のはじめに携帯の基本的な情報を児童全員で共有するようにする。その際には保護者の協力も得て、児童に携帯について説明をしてもらったり、資料などを活用するなどの工夫を行う。

そして、児童が携帯に関する記事のスクラップを開始していく。スクラップした記事を読み、要約したり感想を書いたりしているうちに自分が詳しく調べていきたいテーマが絞られてくると考える。スクラップした新聞記事をグループで持ち寄り、それらをもとにグループで話し合いを行って、自分たちが取り組みたい課題を決定させるようにする。

テーマの決定の際には単なる調べ学習をするのではなく、「携帯を使ってよりよく生きられるようにする」「携帯の危険から自分たちを守る」という視点を忘れずに持つようにさせることと同時に、そうするにはどうすればよいか具体的に提案できるようなものにしていくことを意識させる。

(2) 調べる方法

1) NIE

9月24日から新聞6紙が1部ずつ配布される。その新聞を回覧するほか、児童が家庭で購読している新聞も活用できるように保護者に協力を要請する。

2) 図書館資料(パンフレットや広告なども含む)

学校図書館や地域の図書館(児童の自主的活動として)を活用して情報集めをさせる。また、携帯やインターネットに関するパンフレット類も集め、活用していく。

3) インターネット

インターネットのフリー百科事典や内閣府のポータルサイトなどを活用し情報集めを行う。ただしインターネットは信頼性が低いので、複数のサイトや他のメディアの情報と比較していくように指導する。また、docomoの子ども用サイトも適宜利用させる。

4) 取材(電話などの聞き取りも含む)

携帯会社や新聞社などにメールや聞き取りなども適宜行うようにする。体に与える影響などについてはできれば医療関係などの専門の機関に問い合わせをしたい。

5) ゲストティーチャーの授業

埼玉新聞社の協力を得て取材の仕方(調べ学習のため)や記事の新聞のつくりかた(まとめるため)を指導していただく。また、必要に応じて携帯会社の特別授業も企画する。

5. コミュニケーションの確保

(1) グループによる活動

4人~5人のグループによる共同学習を行う。同じテーマの問題を調べたり、調べたことをまとめて発表したりする活動を行う。今回はグループのテーマを決定することから活動を行うので、学級の生活班を利用していきいたいと考える。

(2) 成果発表会の実施

調べたことを新聞にまとめ、新聞に掲載した記事のエッセンスを発表する時間を設ける。できれば、授業参観を活用して保護者にも観ていただくようにしたい。また、自分たちが発表したことが社会的にも認められるという実感を持たせてもらうために埼玉新聞社と連携し、児童の活動に指導助言をお願いしたり、活動のようすを取材していただくなどして、児童の活動に社会的な意味付けをしていただくようにする。

(3) ファミリーフォーカスの活用

新聞記事は児童にとって読むのが難しい面がある。そこで新聞スクラップをする際には家庭でも助言していただけるように保護者にも協力を要請する。具体的にはスクラップをする際に補助をしていただくことや、記事について児童と話し合ってもらうようにする。

また、教室には各紙1部の新聞しか届けられないため、全員で回し読みをするのに時間がかかる。そこで、読み終わった新聞を提供してもらい、児童がいつでもマイ新聞をもっているようにしたい。

6. 「キーコンピテンシー」との関連

(1) PISA型リテラシーとその志向プロセスとの関連

1) 知識・情報収集

読解力: 情報の取り出し—テキストの解釈

2) テーマの絞り込み

情報を自分たちの課題に適したものかを見極め、戦略的にその情報を使う。

読解力: 熟考評価

科学的リテラシー: 科学的に証拠を用いること

3) 結論を言うための証拠を並べる

情報を自分たちの課題解決やプレゼンテーションのために活用する。

読解力: 熟考評価

科学的リテラシー: 科学的に証拠を用いること

4) 表現、コミュニケーション

相互作用的に用いる: 知識・情報を道具として使用し表現しコミュニケーションする。

(2) キーコンピテンシーの「異質な集団で交流する」「自律的に活動する」との関連

1) 異質な集団で交流する

4人～5人のグループで協働して情報収集や発表などを行う。

2) 自律的に活動する

将来遭遇するであろう課題を選び、自らが見つけた課題を意欲的に解決しようとして活動を行う。

7. 単元構成上の留意点

(1) 普段のNIE学習の充実

1) 新聞スクラップの実施

毎週1回、新聞スクラップの時間を設け、新聞記事のスクラップを行う。その際に記事の要約と自分の意見や感想を記述する活動を行う。

2) 新聞記事を活用したスピーチの実施

朝の会を利用して、1日2名ずつスクラップをした新聞記事についてのスピーチを行う。

3) 新聞コーナーの設置

教室の掲示板上に埼玉新聞社の1面や教師が児童に興味を持ってもらいたい記事を掲示するコーナーを設置する。

(2) 関係機関などとの連携

新聞社や携帯会社など専門の機関と連携して深みのある授業づくりを行う。また、児童の活動に意味づけをする意味で、新聞社の取材をお願いしたり、新聞社への投稿などの活動も行う。

「鍵となる能力」＜NIE学習＞学習詳細案

さいたま市立鈴谷小学校 菊池 健一

1. テーマ

『ケータイ社会をよりよく生きる』（ケータイプロジェクト）

2. 学習の目標（キーコンピテンシーにかかわるもの）

児童がグループによる協同的な学びを行う。クラスのテーマからグループのテーマを絞り込み、新聞を中心に活用して調べ学習を行う。そして、調べたことをまとめたり、発表したりする表現的活動（言語活動の一環として）を行う。

1) 知識・情報収集

読解力：情報の取り出し－テキストの解釈

2) テーマの絞り込み

情報を自分たちの課題に適したものかを見極め、戦略的にその情報を使う。

読解力：熟考評価

科学的リテラシー：科学的に証拠を用いること

3) 結論を言うための証拠を並べる

情報を自分たちの課題解決やプレゼンテーションのために活用する。

読解力：熟考評価

科学的リテラシー：科学的に証拠を用いること

4) 表現、コミュニケーション

相互作用的に用いる：知識・情報を道具として使用し表現しコミュニケーションする。

3. 学習の流れ

時間	フェーズ	学習内容・学習活動	準備など
1	準備	ケータイについて考える。 *ケータイの基本的な機能などについて共通認識をもつ。	・ワークシート (内田洋行)
2		新聞スクラップの仕方を学ぶ。 (DVD) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 児童の携帯に関する記事スクラップ開始 (家庭にも協力を要請する。) スクラップノート作成 </div>	・朝日新聞社発行 DVD ・スクラップシート ・スクラップの仕方解説ワークシート

3	テーマ	スクラップから分かったことを発表し合う。 * スクラップした記事について発表し合う。	・児童のスクラップノートや資料
4		グループのテーマを決定する。 * ケータイから派生するテーマについて話し合い、決定する。	・ワークシート
5	調べ学習	新聞記者(ゲストティーチャー)から取材の仕方について学ぶ。 * 取材の仕方・インターネットや新聞から調べる際の注意点など	・埼玉新聞社記者の授業
6	調べ学習	調べる計画を立てる。 * 場当たりのではなく、戦略的に情報を得られるようにしていく。 * 地域の公共図書館とも連携し、児童が課外にも積極的に調べ学習を行えるような環境づくりを行う。	・調べ学習計画表 ・メディアの利用表
7		新聞や図書、インターネットで調べる。	・コンピュータ室や図書室の準備
8		* 計画表に従って調べていく。自分たちのグループのテーマにそっているもの・証拠として出せる	・図書館司書への連絡
9		情報を取り出すことを意識させる。	・各機関へ質問がある場合にはメールのやり方
10		* 出典などを明らかにさせるように指導する。(著作権教育)	について指導する。
11		* 新聞の場合は新聞名・日付・ページを記入すること。	
12	成果物作成	新聞づくりについてゲストティーチャーから学ぶ。 * 新聞紙面の構成や記事の配置について	・埼玉新聞社記者の授業
13		新聞づくりの計画を立てる。 * 割り付けや役割分担を行う。	・新聞制作ワークシート ・新聞見本
14		グループごとに新聞づくりをする。	
15		* 新聞は模造紙2枚とする。	
16			
17	プレゼン	発表の練習をする。	・プレゼン
18	テーション	調べたことを発表する。	・授業参観準備
19		* 保護者や新聞記者の方へ発表して感想をいただく。	・新聞社への連絡
20	まとめ	学習して成長したことをまとめる。	・活動のまとめ ・成長エントリー

